

「IPCC WG1 共同議長トーマス・ストッカー氏と 市内大学在学学生による気候変動に関する懇談会」を開催します。

□ 主旨

平成 26 年 3 月に日本で初めて、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)総会が横浜で開催されます。

この機会を捉え、本市の温暖化対策をさらに進めていくために、環境省や関連機関と連携し、市民に向けた啓発イベントを実施しています。

12 月 3 日に横浜で開催される、文部科学省・環境省主催のシンポジウム(9 月に公表された IPCC 報告書など最新の気候変動の知見の報告会)への第 1 作業部会共同議長のトーマス・ストッカー氏の来浜にあわせ、翌日の 12 月 4 日に市内大学の学生とトーマス・ストッカー氏との気候変動に関する懇談会を開催します。

次世代を担う学生たちに気候変動への関心を引き起こすと共に、地域社会、さらには国際社会において環境問題に取り組む次世代リーダーとなる人材の育成を支援してまいります。

□ 懇談会概要

日時 平成 25 年 12 月 4 日(水) 9:30 ~ 11:00

場所 パシフィコ横浜 会議センター2 階(211, 212)
(裏面「案内図」)をご参照ください

参加者 IPCC 第 1 作業部会共同議長 トーマス・ストッカー氏
東京都市大学環境情報学研究科、環境学部 5 名
フェリス女学院大学エコキャンパス研究会 3 名
横浜国立大学大学院環境情報学府、理工学部 4 名

司会進行 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES) 所長 森 秀行

【懇談内容イメージ】

- IPCC 第 5 次評価報告書第一作業部会報告(自然科学的根拠)の概要
- 気候変動が与える様々な影響について
- 次世代に望むこと(気候変動に関する認識、ライフスタイルの転換等)

※取材につきましては、12/2(月)までに裏面の「お問合せ先」までご連絡ください
なお、一般の方の参加は受け付けていませんので、ご了承ください。



■ トーマス・ストッカー氏 略歴

気候変動に関する政府間パネル 第 1 作業部会共同議長
ベルン大学 気候・環境物理学教授

出身: スイス・チューリッヒ

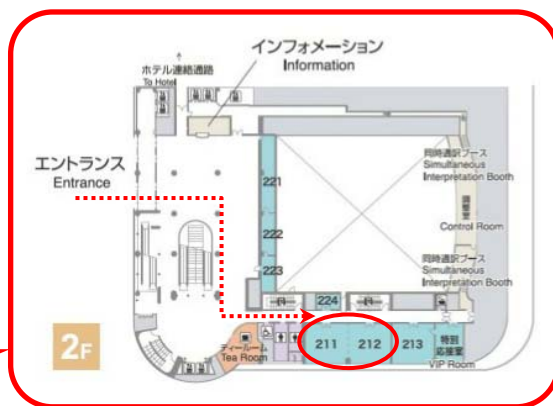
経歴: ロンドン大学、コロンビア大学、ホノルル大学等で研究に従事。
過去と将来の気候変動のモデル化や、グリーンランドと南極の氷床コアからの降水の化学成分と温室効果ガス濃度の再構成などの研究を実施。気候力学、古気候モデルと復元の分野における 180 以上の論文の著者



■ 案内図

パシフィコ横浜会議センター

西区みなとみらい1-1-1 TEL : 045-221-2155



※参考

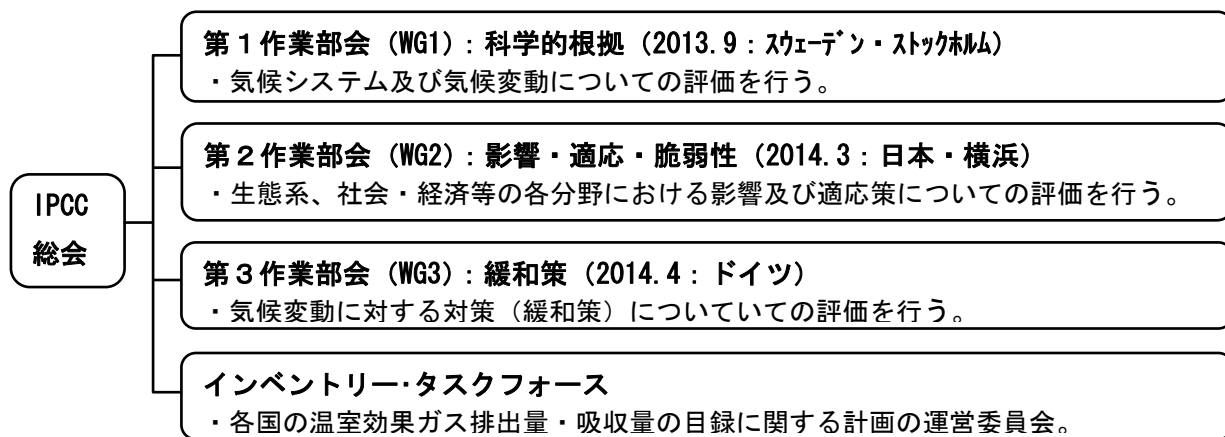
■ IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change) 概要

- 国連環境計画 (UNEP)・世界気象機関 (WMO) により 1988 年に設立された政府間機関。世界各国の研究者の参加の下、地球温暖化に関する様々な評価を行い、その知見を、政策決定者をはじめ広く一般に利用してもらうことを任務としています。
- 本年 9 月には、6 年ぶり IPCC 報告書 (第 1 作業部会) が公表され「地球温暖化の原因は人間の活動である可能性が極めて高い」と発表。「温暖化は確実に進行している」と世界に向けて警鐘を鳴らしました。パチャウリ議長は「前代未聞の気候変動が起きていることは疑いない」と発言し、世界の更なる行動と対策の必要性を呼びかけています。



IPCC (右:パチャウリ議長) は、ゴア米元副大統領と共に、2007 年にノーベル平和賞受賞

■ IPCC の組織



■ IPCC 第 38 回総会 開催日程

- H26.3.25~30 第2作業部会・第38回総会 (パシフィコ横浜)
- 横浜で開催される第2作業部会、第38回総会では、温暖化のもたらす影響 (生態系、食物、海面上昇、健康他) とそれに対する適応に関する報告を作成、採択。
- 総会には、各国から約 500 人の研究者が参加予定。

お問合せ先

温暖化対策統括本部企画担当課長

林 総

Tel 045-671-2683